



「米沢鷹山大学ガイドブック」 「おしょうしなカレッジ」 いよいよ募集開始！

来年4月1日発行予定の「米沢鷹山大学ガイドブック」に掲載する講座の募集と、「おしょうしなカレッジ」の講座実施者の募集が、いよいよはじまりました。今年4月に全戸配布されている平成16年度ガイドブックは総96ページからなっており、掲載講座数は年々増加傾向にあります。ガイドブックについては、米沢鷹山大学運営委員会による見直しを経て、より見やすく、使いやすいガイドブックを目指します。



平成16年度ガイドブック

平成17年度 米沢鷹山大学ガイドブック

締切り 1月31日(月)

「米沢鷹山大学ガイドブック」は、毎年4月1日に全戸配布されています。平成4年の創刊以来、情報掲載量が年々増加しているこの本が、新年度に向けていよいよ動き始めました。

ガイドブックに掲載できるものは、①4月1日から翌年3月31日までに開催・修了するもの、②募集対象者が米沢市内全域の市民であることなど、いくつかの要件があります。ただし、団体等の新規会員募集などとは違うので要注意。

掲載を希望する方は、専用の申込み用紙がありますので、米沢鷹山大学本部までお問い合わせください。

「おしょうしなカレッジ」 講座実施者募集！！

締切り 1月21日(金)

平成16年度からはじまった「おしょうしなカレッジ」は、市民の皆さんの特技を広く教えていただくような講座を企画運営していただくという、受益者負担の考え方を基本とした講座で、市民主体の生涯学習のまちづくりを進めるため、学習機会の拡充や学習成果の活用場の提供を行うものです。

「こんな講座をやりたい」と思う講座を自由に企画し、運営するという形式をとっており、市民なら誰でも講座の開設、受講ができます。

よねざわ学アカデミー

10月20日、マナビストの有志が集まり、最近話題になっている「地域学」について研究する「よねざわ学アカデミー（会長 新谷博司）」を発足させました。

同会では 米沢の歴史・文化・観光・方言などの研究をするとともに、米沢の未来についても広く市民の声をきき、まとめるなど幅広い分野での活動を企画しています。

活動の主メンバーには、米沢市から生涯学習の奨励支援者として認定されている「マナビスト」に呼びかけると共に、小・中・高・大学生や一般社会人にも参加してもらい、研究成果の発表会や報告書として発行することも考えています。

ぜひご参加ください！

ひどすぎる！中越地震

米沢からの支援活動の実態



去る10月23日午後5時56分頃「マグニチュード6.8」新潟県を襲った地震は、「中越地震」と名付けられました。

市・県・民間業者・

市民ボランティアの皆さん

ご苦労様でした！

小千谷市から 市役所に感謝のメール

米沢の皆様、ありがとうございました！

あの地震から一ヶ月がたちました。

私は、小千谷市吉谷に在住しております。この地域は被害がひどく、住宅のほとんどが全、半壊状態という状況です。私も、町内の人達6軒家族で、作業小屋で避難生活をしておりました。そんな避難所に「米沢から来ました！」とボランティアの方達が11月13日と20日の2日にわたって いも煮、すき焼き、おでんの炊き出しをしてくださいました。あたたかい食べ物とボランティアの方達の笑顔にどんなに勇気付けられたでしょう！！「皆さんは、どういうグループの方たちですか？」と聞いたら、「我々は、ごく一般人です。この炊き出しの材料は、米沢の業者の方達の善意なんですよ。」と話してくださいました。本当に感激しました。

ボランティアに支えられました

被災者の立場になってみんな大変な日々の中、人の温かさを感じることができ「ありがたいね」と感謝しておりました。口下手な県民性のせい、たいしたお礼もいえず心残りに思っておりました。

避難所のほうも、仮設に入る人、親戚のところに行く人、どうにか家を補強して一冬過ごす人とそれぞれに出て行くことになり、もうすこしで解散となります。被災して、先のことも考えられず茫然としている中、ボランティアの方達始め「応援しているよ。見守っていますよ。」のメッセージがどんなに勇気付けてくれたことか・・・本当にありがとうございました。お名前もわからず、米沢ということだけで市役所の方へ連絡させていただきました。感謝の気持ちが届いたら幸いです。

小千谷市の m-tomo さんから

米沢いも煮隊出陣しました

米沢いも煮ボランティア代表 斎藤浩

「暖かいものを食べたい」と被災者が言っているテレビを見たのは、中越地震発生2日後の10月25日でした。26日より有志の方々と食材などを調達しました。ある程度の出費は覚悟していましたが、ほとんどの業者は無償で提供してくださいました。この温かい米沢市民の善意も伝えるため、飲料水も積んだトラックで総勢13人で28日の早朝、第1回目のいも煮隊は米沢市役所を出発しました。

小千谷市役所に到着したのは、午後1時でした。最初は600人が非難している勤労青少年ホームで500食、夕方は2000人が非難している小千谷小学校で1000食のいも煮の炊き出しを行いました。震災後、温かいものどころか、ほとんどの人は肉を食べていなかったそうで大好評でした。

5回の炊き出し・98人参加・7700食提供

帰る時、私たちの世話を下さった地元の青年は、「今まで来た中で、最高のボランティアです。元気付けてもらいました。このご恩は一生忘れません」と言って大粒の涙を流していました。思わず私たちももらい泣きしてしまいました。非常に感動的な1日でした。

帰りに参加者の一人が「元気を与えにきたのに、私は元気をもらって帰ってきた」と言っていたのが印象的でした。

被災地には6回行き、炊き出しは5回行いました。累積すると参加者延べ98人で、7700食のいも煮等を被災者に提供しました。ご協力、ご支援いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

サークル・グループ・教室	あなたも紹介してみませんか？
詩吟 香城会 若手が多いグループです いつ・木曜日 19:00～21:00 場所・置賜総合文化センター(黒木23-4515)	囲碁 ミニ碁盤会 9路盤を使います いつ・8・18・28日 13:00～17:00 場所・愛宕公民館(竹田23-9406)

最前線で支援活動してきました

消防署 高橋祥泰

午後5時56分に地震があり、間もなく山形県にも出動要請がかかり、即米沢隊は午後7.30に出発。途中置賜の消防隊を掌握しながら進み、新潟県中条IC入り口に集結し山形県緊急消防援助隊として出動する(出動車両32台・出動人員115名)。長岡市役所前に着くと福島県・富山県各隊が到着していた。凸凹・陥没の道路を注意しながら進み小千谷市体育館前で夜明けまで待機。夜明けを待って山古志村に移動、更に土砂崩れ等で車両移動が不可能なので、ヘリコプターにて同村の種芋原地区に移動し被害調査を行なう。ライフライン(ガス・上水道・電気)が止まったことにより文化生活に慣れすぎた現代人には、正に手も足も出ない状態であった。また被災地で必要なのはお金よりも食料であることを痛感した。

1ヶ月にわたる支援活動が終わりました

米沢環境事業協同組合参加事業社

参加事業所 厚生社、中央清掃、文化清掃、金沢清掃、米沢清掃の5社

行先 長岡市(下水道が普及しているため)

内容 汚水処理

マンホール破損の調査と滞留時くみとり
汚水を浄水管理センターへ搬送

作業 1ヶ月間にわたり、米沢から 延べ81人
車両66台で 支援活動をしてきました。

市職員・民間人として支援活動

相田隆行

中越地震から1ヶ月が過ぎ、復旧作業もだいぶ進み、テレビでも報道されることが少なくなったように思う。確かに、高速道路や小千谷市街地では、復旧も進み、通常の生活に戻りつつあるように見える。しかし、現実、地区によっては、「衣・食・住」すら満足ではなく、それにプラスして、豪雪地帯である新潟、雪が降るこれからが被災者にとって本当に大変なんだろう。

ある地区で炊き出しをしたとき、「こんなあったかい物ご馳走になれて、ありがたいねえ」「早く家族にあったかい物食べさせたいねえ」そんな言葉をいただく、こちらの心もすごくあったかくなった。「どっからきてくれたんやあ」「困ったことがあったらいつでも遠慮なく連絡してなあ」あたたかい言葉と笑顔で、自然と場が和んだ。

実際に、私は生まれてから、このような大きな災害にあったこともないので、被災者の精神的、肉体的負担の大きさをどれほど理解できているか、分からない。でも、今回の支援活動を通して、この状況を少しでも乗り越えたいという被災者の「心の強さ」、少しでも元気になってほしいという各地から集まっているボランティアの「心のあたたかさ」、そして、おたがいが温かい気持ちになれる「心と心の触れ合い」を、幾度となく感じた。日常生活で自分が忘れかけていた大切なものを、たくさんの人が気づかせてくれた。

『人の力では災害が起こらないようにはできないが、起こってしまった時、この「心の強さ」「心のあたたかさ」「心と心の触れ合い」があれば、きっといつか乗り越えられる。』

小千谷市までの3時間の道のり、はじめは遠く感じたが、今は、すごく近く感じる。

人的支援

米沢市として人的・物的支援概要(一部)

支援場所	支援期間	支援目的	支援人数	延人数	支援根拠
川口町・山古志村	10/23-24	消防活動	11人	22人	山形県緊急消防援助隊
長岡市	10/24-11/3	給水活動	15	48	日本水道協会応援協定
長岡市	10/28-31	被災建築物応急危険度判定	1	4	大規模災害時の北海道・東北8道県相互応援に関する協定
長岡市・小国町	10/28-11/3	下水道施設管状況確認	2	14	災害応急連絡会議
小千谷市	11/4-11/10	ゴミ集積所管理	9	27	小千谷市の要請

物的支援

市民からの支援物資の多くは、紙おむつでした。

支援場所	支援月日	支援物資	支援根拠	備考
長岡市	10/26	飲料水8010ペットボトル1008本 りんご32個×32ケース おにぎり2個×1000パック	協定に基づかない	市職員による輸送
長岡市	10/26	市民から受け付けた支援物資19個口	協定に基づかない	郵政公社による輸送
小千谷市	10/27	市民から受け付けた支援物資22個口	協定に基づかない	郵政公社による輸送

バブちゃんねる

NCV9ch からのお知らせ

平成16年度米沢市家庭教育支援番組制作事業
親子でテレビを見ながら、子育てのなやみ、健康、
しつけ、遊びについて、楽しんで解決しましょう。

放映時間は一定でないので、詳しくは
中央公民館へお問い合わせください。

TEL 21-6111

おもしろ温泉シリーズ (4)

松谷忠和



北海道の音更町にある十勝川温泉は、
モール温泉と呼ばれている。世界で2箇
所しか湧いていない貴重な温泉です。地
下深くに堆積した植物の層から湧いてく
る、有機物を含んだ植物性の天然温泉で
す。「天然の化粧水」と呼ばれるほど美容
効果が高い温泉です。宿泊したホテルの
露天風呂から見た、冬空の星は美しく幻
想的であった。

米沢の温泉には、多くの露天風呂があ
り楽しめる。ゆっくりお湯に入り、露天
風呂からのナイトウォッチングはいかが
でしょう。温泉愛好家の人々では、露天
風呂が大人気になっている。



発行：米沢慶山大学本部
マナビスト

事務局：〒992-0012 米沢市金池3-1-14
置賜総合文化センター4階
TEL 21-6111(内線 6423)
FAX 21-6020

ホームページアドレス
<http://yozan.educ.yonezawa.yamagata.jp/>

コラム

中越地震に思う 伊藤聖子

携帯電話が使えなくなった・・・ファンヒーター
が使えなくなった～パソコンも今ひとつ調子が悪い
～。日々の生活の中で当たり前になっている物が使
えなくなった時にいったいどうすれば・・・、そん
な事さえ想像する事も無い生活の中で、新潟の震災
は、その事を考えさせられた。

「声が聞きたくて～」と携帯を握りしめて、もん
もんと相手の事を考えながら朝を待つ夜。車をとば
して行く事もできない。自分の思い通りにできない
不自由さ不便さに苛立ちを募らせただろう。便利に
なったばかりに多くのグチ・文句を言う事に精一杯
の自分もいただろうと思う。

しかしながら、子ども達の笑顔から元気をもらう
事の多さに癒され・励まされ、忘れていた感動・感
謝を思い出させてくれた。

あの子らは、苦しい時、辛い時に、人の温もりに感
謝の手を合せ、心を使わなければ・・・と実感でき
たと思う。豊かな心で人と人とのつながりを大切に
持っていくことだろう。

時には不便(電源OFF)な生活も特効薬になるかも
～。

街全体を自然公園のように！

紹介して下さい！

きれいにしたい空き地や林など

街中に荒れ放題の空き地や林などがありません
か？ごみを片付け、下草を刈り、花などを植えれば、
街全体が気持ちよくなります。そして街住民の憩い
の場や交流の場になり、子供の遊び場になります。

私達・米沢生涯学習ボランティアマナビストのボ
ランティアグループは、近所に住む人々と一緒に、
整備・緑化のお手伝いをしたいと思います。そのよ
うな場所を提供して下さる方がおられましたら、ご
連絡ください。

米沢マナビスト二期会 環境グループ
連絡先：高橋 寛

tel & fax: 38-3072

e-mail: wanwan@coral.ocn.ne.jp

